



村の魅力発信 中村^{のりこ}登子さん(上大池)

横浜から山形村へ移り住んで6年。

「都心では忘れ去られている、そしてずっと山形村に住んでいる人たちも当たり前になってしまっている、自然の豊かさや人の温もりをもっともっと多くの人に伝えていけたら」という思いから観光協会に勤めて4年半になる登子さん。収穫体験などを通じ、今ではその思いがもっと強くなったと話してくれました。

今日も素敵な笑顔で、人と人とのふれ合いでこそ伝わる“熱”を大切に、丁寧なおもてなしで山形村の魅力を発信しています。

(5月3日 山形村観光協会にて)

働く姿

告知板

B & G プールのアルバイト募集中

期 間 6月24日(土)~9月2日(土)
 内 容 プールの受付・監視・清掃等
 時 間 AM9:00~PM5:00
 シフト制で勤務時間を割り振りますので、平日のみ、休日のみ、夏休み中のみ等、相談に応じます。
 時 給 840円
 資 格 高校生以上の健康な方
 申し込み 6月8日(木)までに教育委員会へ
 (98-3155)

**常会対抗
春のスポーツ大会**

春の訪れと共に、今年も各分館のスポーツ大会が始まりました。体を動かすことに喜びを感じる人や、慰労会の一杯が楽しみな人など様々ですが、地域の交流の場として大切にしたいですね。

上竹田分館 4/16

これまで行われた分館の競技内容と結果は、次の通りとなります。

男子【ソフトボール】
 優勝 原村上
 準優勝 *四ツ谷上・中・東
 第3位 中村
 殿村
 女子【ソフトバレーボール】
 優勝 *御判形・本郷西
 準優勝 中村
 第3位 唐沢下
 原村東
 *は連合チーム



男女混合
 優勝 仲町
 準優勝 橋爪西
 第3位 下村

**下大池分館 5/5
ドッチビー**



男子
 優勝 中原町
 準優勝 大日
 第3位 山口
 中嶋
 女子
 優勝 山口
 準優勝 中原町
 第3位 大日
 中北沖

**小坂分館 4/29
ソフトバレーボール**



男女混合
 優勝 青木沢南
 準優勝 中耕地東
 第3位 豆沢北

**上大池分館 5/14
ソフトバレーボール**



男子
 優勝 野際
 準優勝 中村A
 第3位 上手西
 女子
 優勝 上手東
 準優勝 中村
 第3位 下村東

**中大池分館 5/7
ワンバウンドふらばるバレー**

山すそ

この4月に5年振りに転勤となった。松本市内の支店間での異動であり、環境が大きく変わった訳ではないが、新しい職場では多くの刺激を受けるものだと改めて感じている。改めて感じたと言え、こんな事もあった。「どんな場所、どんな物が、山形村の宝」と感じるか家族に聞いてみよう」という宿題を、小6の娘が持ち帰って来た。最初は家の中で、小学校の枝垂れ桜、道祖神などと言っていたが、どんな宝があるか探したくなり村内を巡ってみた。以前館報でも紹介した清水しん泉の湧き水や、四ツ谷西公園などを娘と一緒に訪れ、唐沢そば集落入口付近から山形村一帯を望む絶景など、村の宝となるものを改めて感じる事が出来た気がした。山々の新緑が眩しくなり、村内を散策するのにはいい季節になった。村のウォーキングコースを歩いて、山形村の魅力を変えて感じてみるのもいいかと思う。そう言えば、今月号には『山ブラ』なる紙面も登場している。

図書館からのお知らせ

* 本であそぼ・春編
 「ピオープ(水辺)に行こう
 水中の生き物を見つけよう」
 ピオープ(水辺)にはどんな生き物
 がいるかな?見つけてみよう。
 日時: 6月3日(土)
 10:00~12:00
 集合: 下大池八幡神社の境内
 定員: 20組
 持ち物: 水中の生き物をすくう道具
 (例: たも網・ザルなど)・も
 ち帰る場合は入れ物・ぬれ
 てもいい靴・着替えなど。
 講師: 上條一則さん(アクアの会)
 問い合わせ: 山形村図書館
 98-3155

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK No.29

編集=山形村図書館

今年の野菜はおまかせ!! 「家庭菜園のコツ教えます」

4月16日(日)、トレセンめばえの部屋で「家庭菜園のコツ」講座が開催されました。公民館と図書館の共催で28人の参加でした。
 農山漁村文化協会の、齋藤辰徳さんを講師に招き、野菜の植え方を講義してもらいました。
 「本を見ながら自己流でやっているけれどなかなか思うようにいかなくて……」せっかくなか畑があるから、草じゃなくて野菜育てようと思ってるね」と、植え付けの時期を控え、みなさん興味深々です。
 ジャガイモの超浅植え、トマトの寝かせ植え、サトイモの逆さ植え、ネギの落とし植えなど、DVDを観ながら成功事例を解説してもらいました。
 一風変わった栽培法に、参加者は「初めて聞くやり方ばかり。チ



ヤレンジしてみよう」と意気込んでいました。
 他にも、「虫除けに帽子にピタツと サロンパス」使えます
 モグラ退治に「チューインガム」
 など、お役立ち情報を川柳にして紹介。さっそく試してみたい裏ワザばかりでした。
 講座で使ったDVD、関連図書、雑誌『現代農業』は図書館で貸出しています。ぜひご利用ください。
 この講座はその後6・8・10月を予定しています。次回は6月18日(日)9時から。テーマは病害虫対策、自然農薬についてです。
 好評につき次回は広い会場のふるさと大ホールを用意しました。
 追加申し込みを受け付けています。
 お問い合わせは98-3155、公民館または図書館まで。

子ども読書週間企画 「子どもの本アカデミー賞」 投票待っています。

この春、3年目を迎えた読書マラソンのリストをリニューアルしました。
 3年生以上のコースを学年ごとにして、本の数を半分にしたのです。「10冊くらい?これならすぐ読めるかも?」と、リストを手にはりきって借りて行く子ども。さらに、ノンフィクションの「どこでもドアコース」にも、1・2年生向きを作りました。こちらのコースは、大人にも好評です。
 そして、読書マラソンに出てくる本や、主人公たちの中から「この本の本アカデミー賞」「主演男優賞」「主演女優賞」「絵本賞」を決定する投票も行っています。あなたの一押しはどの本?どの主人公?村図書館に投票に来てね。
 発表は5月31日です。
 お楽しみに。



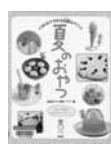
おすすめ新着本紹介

『ばけたらふうせん』

三木卓 (童話館出版)
 ある日、病院に青いふうせんがやってきた。化けているうちに元の自分を忘れてしまったと言うこのふうせんの正体は?
 『30分のできる伝統おやつ』



夏のおやつ (偕成社)
 日本と世界のおやつがいっぱい。ほかに春・秋・冬のおやつもあります。大人にもおすすめ。
 『遠縁の女』



青山文平 (文藝春秋)
 武者修行から帰った男を待っていたのは、女の仕掛ける謎……。直木賞受賞作『つまをめとらば』に続く武家小説集。
 『ネットの高校、はじめました。』 崎谷美穂 (角川書店)
 カドカワと「ここにこの動画」のドワンゴがつくったネットの高校
 『N高、その1年目の記録。』
 新着DVD

『奇跡の教室』『独裁者』
 『家族はつらいよ』
 『プラダを着た悪魔』
 『ドキュメンタリー』『うまれる』
 『グレート・プラネット』他
 YCSの番組のDVD
 『やまがたアルバム1992』
 『ふるさとの昔ばなし』他



突撃 インタビュー
本庄村長に聞く!!
 5月5日 村長室にて

3月より、山形村の舵取りをしている本庄利昭村長。一体どのような方で、どんな考えをもっているのか?今回探ってきました。

村長になって2か月が経とうとしています。今のお気持ちは?

村長と呼ばれることに、少しは慣れてきました。

6月には議会定例会がありますので、各議員さんとの質疑応答などで村の行政課題や村政への思いを村民の皆さんに理解いただけるように努めたいと思います。

村民の方の村を支える力(村民力)と、役場職員の能力が十分に活かされる行政運営が必要だと思っています。

山形村に対しての思いなどを、お聞かせください。

その昔、山形村は水の無い村でしたので、水の問題で大変苦労した歴史があります。そんな時、みんなで知恵を出し合って様々な問題を解決して来ました。今でも山形村は底力を持った村民が多い村だと思います。

しかし最近、近隣の村の中では比較的恵まれた村になりましたので、その分村民力が低下してきた様な気がします。山形村の良いところの一つである村民力を活かした村



づくりをしたいと思っています。そんな中で、村民の方にとって最も身近な地域の組織である連絡班未加入世帯が増加していることについては、何が原因なのか検証が必要だと思っています。

また、今の子どもたちが仕事や進学で山形村を離れたとしても、やがて「また、ふるさと山形村に住みたい」と思える村にしたいと思っています。

私が子どものころは、よく近くの里山に入って遊んだものですが、今の時代、子どもたちはほとんど山では遊びません。少しさみしい気がします。小学校への登下校の折にも、田んぼや畑道などで道草をしながら四季折々の自然の中で友達と遊びたくさんの思い出が出来たものでした。子どもたちには、山形村で暮ら

す楽しさを知ってほしいと思います。それに「生きる力」を付けてほしいですね。

村民の皆さんへ、ひとことお願いします。

「住みがいのある村」づくりを目指します。山形村に住むことに生きがいを感じられる村づくりを村民の皆様と共に進めたいと思います。

限られた予算の村でありますので、村民の皆さんの意見要望の集約が村民主役の村づくりの出発点であります。そのためには、行政の気に入らないことやおかしいと感じることを、何でも気軽に聞かせていただきたいと思います。行政側も、村の考え方を分かりやすく説明させていただきます。村民の皆様には理解を

いただいた上で、地域のため村のために、共に知恵を出し汗もかいていただきたいと思います。役場職員には、石橋をたたいて渡ることも大事ですが、失敗を恐れずにチャレンジすることも大事だと話しています。それと10年20年先を考えながら仕事をすることが必要とも。

村民の皆さんが主役です。役場は名脇役を演じます。4年間よろしく願います。

相田みつをさんの詩が好きだという、本庄利昭村長。その中でも、

○うばい合えば 足りぬ 分け合えば あまる

○負ける人のおかげで 勝てるんだよな

などが特に好きだそうです。とても経験豊かで知識が豊富。山形村のことをよく考えてくれていることは真剣な表情にも表れていました。

インタビュー終了後トレニングセンターグラウンドを見ながら「最近、孫が野球を始めたらだよ」と言った時の穏やかな顔からは人柄の良さも感じ取ることが出来ました。

山フラ

山形村をぶらっと散策

村内の名所、史跡、イベントなどを編集部スタッフの気の向くまま、思い付きでぶらっと散策。第1回は上竹田ピアやまがた近くの穴観音へ行ってきました。

穴観音さま

八世紀中ごろに造られた横穴式古墳の石室に観音さまを祀っていたことから穴観音と呼ばれています。

明治初期、子どもたちが山中腹で遊んでいた時に穴が開いて発見されたという伝説がありますが、周辺に残る石仏は江戸時代のももあり、真実は謎に包まれています。

現在では倒壊の恐れがあり、石室内に土嚢が積みまれています。古墳の内部は見る事ができませんが、石室内に安置されていた穴観音さまは右隣のお堂（伴僧坊）に祀られています。

百体観音

69体なのに百体観音。明治14年、彫像を依頼した石工が69体刻んだところで、寄進者100人のお金を使い果たし夜逃げをしてしまいました。



拝殿

明治17年建立。拝殿の奥が古墳の石室ですが、土嚢で見ることができません。拝殿内には絵馬が奉納されています。



伴僧坊

現在、穴観音さまが安置されています。波田の若澤寺の稲荷社を移築したものです。



宝篋印塔

明治初年ごろ波田の若澤寺が廃仏毀釈で廃寺となり、破壊を恐れた竹田の信者が中心となって、伴僧坊と共にこの地に運び出したといわれています。



馬頭観音石碑

元は三夜塚にあったものを移築。有名武将の馬を祀ってあるといわれ大切に護られています。



石灯笼 (明治18年)



⑩穴観音古墳



⑨石仏4体



石仏

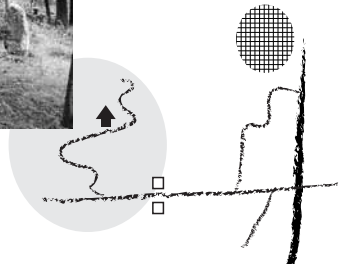
- ①「南無阿弥陀仏」
- ②「衆善奉行」 (寛政2年)
- ③「諸悪莫作」 (寛政2年)

お地蔵様

- ④ 左 (享保19年)
- ⑤ 右 (享保18年)



ピアやまがた



古墳としての穴観音の遺跡価値は高く、また、周囲には多くの石造文化財があります。公園化の話もあったようですが、古墳の修復費用など様々な問題があり頓挫しています。貴重な財産が眠る穴観音の保存は今後の課題だと思っています。
「山フラ」散策前に資料や貴重なお話を文化財保護委員の逢澤佳丸先生にいただきました。紙面作成をもってお礼とさせていただきます。

白球魂!!



4月22日(土)、山形村ふれあいドームにて早起き野球とナイターソフトボールの合同開会式が行われ、20チーム約120名の選手が今年一年の活躍を宣言しました。最後は来賓の方々による始球式で締めくくられ、鋭いピッチングと気合

の入ったスイングで会場を沸かせていました。
ナイターソフトボールは今年で40周年となります。同連盟の百瀬章会長より9月に記念イベントを実施することが告知されました。現在はリーグの垣根を超えた統一戦を検討中とのことです。



安全第一

山形小学校で交通安全教室がありました。天候不良のため、4月19日(水)と24日(月)に分けて行われました。今年も山形村駐在所長、松本交通安全協会山形支部、役場総務課にご協力いただき、横断歩道を渡る時の注意事項や交通ルール・マナーなどを子どもたちに指導していただきました。



4年生はこの教室を修了し、晴れて自転車本免許証を手に入れました。仮免許を卒業した喜びとともに、改めて責任の大きさを実感し、気を引き締めているようにも見えました。

疾走!

市町村対抗駅伝

4月29日(土)、第27回市町村対抗駅伝競走大会が松本平広域公園陸上競技場を発着点に全58チームが参加して開催されました。



自慢の健脚を競い合いながら、想いを込めた襷を次の選手へとつないでいき、山形村は総合23位、村の部では19チーム中、見事1位を勝ち取りました。



なお、大会の様子は今年度はテレビでの生中継やインターネットの動画配信サイトを通じて、リアルタイムで放送されました。

スポーツで活躍する山っこたち



また、同日には第13回市町村対抗小学生駅伝競走大会が全62チームの参加で行われました。惜しくも上位入賞は叶いませんでしたが、一生懸命に襷を渡そうとする選手と、それを応援する仲間がチーム一丸となって臨む姿が見られました。



風

おめでた(子・親)

(敬称略)

- 小出澤海璃・佑弥 奈津美・小坂
- 古川松太郎・宏章 弥生・上竹田
- 田中賢太郎・耕平 悠・小坂
- 岩佐百波・潤 香奈子・小坂
- 濱浦匡・祐一 侑里・上竹田
- 寺澤希八・74歳 中大池
- 安田美和・52歳 上大池
- 宮澤富子・94歳 上竹田
- 百瀬公美・89歳 小坂
- 吉越静夫・75歳 下大池
- 三枝一・79歳 小坂
- 中川康江・85歳 上大池

おくやみ



4月28日、29日
八幡神社例祭

宵祭りでは、子ども神輿が境内を練り歩いた後、恒例となった餅まきやビンゴで盛り上がりました。本祭は、子ども神輿が元気に区内を練り歩きました。



4月22日、23日
大日堂例祭

桜が満開だった小坂大日堂にて行われた春祭り。天気にも恵まれた今年は、昨年よりも大勢の親子連れが訪れていました。

春のお祭り

水神様を祀るお祭りらしく、宵祭りは朝から雨となりましたが、夜には小雨となり、ビンゴ大会も行われ祭りを盛り上げていました。



5月13日、14日
建部神社例祭



5月2日
清水寺八十八夜例祭

京都清水寺の森清範貫主も来村し、一緒に法要を行いました。また、今年は民話クラブ「灯」による紙芝居「清水寺の観音様」の上演も行いお寺の歴史について触れました。

みんなの人権 ㊶

“優の風景”再考

「活気と安心の漂う村づくり」と人権



②1 四月中旬の水曜日放課後、山形小では、本年度第一回目の「山形

見渡すと、様々な社会的格差や貧困の顕在化、差別、虐待、いじめなどの人権侵害、さらには、インターネットの普及など情報化社会の進展とともに新たな人権問題も深刻化してきています。(公民館報「優の風景」等参照) それらの解消に向けて必要不可欠なものは、毎日の生活の中で「お互いがお互いのことを少しばかり気遣い、支え合って生きる」優の心(人権感覚)だと、よく指摘されます。長野県の長い人権教育のあゆみを振り返ってみると、その底流に流れる不易の精神は、「差別の現実に学び、共に寄り添い支え合う」という基本姿勢でした。それは、先ほどの「お互いのことを気遣い、支え合って生きる」《優の心》とも相通じるものがあります。ともすれば家庭や地域の結びつきが薄くなりつつある昨今だからこそ、山形小での人権に関する授業・講演の参観・聴講や各区で開催される人権研修、更には公民館報の「みんなの人権」コーナーで紹介されているようなワークショップなどを通して、私たち一人ひとりが、もう一度、本県の人権教育の大きな成果に目を向け、具体的に人権感覚を磨き続けることが強く求められています。



継ぐ者たち 館報編集部



絆 KIZUNA

昭和25年に第1号が発行されてから、今回で73号になります。67年にもわたり続いている「館報やまがた」です。が、歴代の編集部員の皆さんが継いできてくれたからこそ今があります。

取材している時も先輩方が声を掛けてくださり、当時の編集部のお話を聞かせてくれたり、「これからも頑張ってくださいね」とねぎらいの言葉を頂く事もあります。とてもうれしく思いますし、本当にありがたいです。

この67年間でいつたい何人の編集部員が「館報やまがた」に携わっていたのか、機会があれば調べてみるのも面白いかもしれません。

取材をするにあたり、村民の皆さんの協力も必要です。皆さんが主役です。編集部員が出向いた際には、快く取材を受けてくださいね。

最初に「継ぐ者たち」と題しましたが、もちろん来年度からの後継者も探しています。「我こそは!」興味はあるけど...という方は山形村公民館(98 3155)までご連絡ください。最後に、元館報編集部員の安田美和さんが先日永眠されました。共に誌面づくりをした仲間も今の編集部にいます。安田さんとの思い出や、あの笑顔を忘れずに次の代へ継いでいきたいと思えます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

はるか
上條 遥香さん

上大池
(高2)



あさひ
鈴木 朝陽くん

上竹田
(中2)

書道ガールズ



松本蟻ヶ崎高校書道部に所属し、「書道ガールズ」として活躍中の遥香さん。「大勢の人を前に緊張しますが自分も楽しみながら笑顔で精一杯パフォーマンスしています」と微笑む。なんと昨年1年間で約50回も行ったとのこと。また、個人では全国から応募があった成田山協書大会で成田山賞を受賞した。趣味は、庭でハーブを育て、ポプリや料理などに活用すること。中学2年の時にハーブコーディネーターの資格を取得し、それを活かせる仕事に就くという夢を持って、部活と勉強の両立を頑張っています。

野球に夢中



朝陽くんが館報672号の4面(ニューフェイス達!!)に載ったのは少年野球を始めたばかりのころ。あれから5年の月日が経ち、精悍な顔つきと、がっしりとした体格に変貌。今は鉢盛リトルシニアでキャッチャーとして頑張っている。「慣れないポジションだけどチームの中心になってチームを引っ張っていくポジションなので面白い」と語る。社会人になっても大好きな野球を続けたいという野球一筋の朝陽くんの憧れは、花火師。危険が伴う仕事だが観ている人に夢と感動を与えるところに魅かれています。